

目次

厚生労働省医政局長からの感謝状	1
ISO/TC58/SC4(容器および附属品の使用規格)国際会議参加報告	2
2019年度 高圧ガス容器全国一斉特別回収結果報告	4
◎ 1. ガス種別集計	
◎ 2. 不明容器 ガス種別回収場所	
EIGA主催セミナー参加報告	5
◎ セッション内容	
2020年 賀詞交歓会	7
気ままにコラム	7



厚生労働省医政局長からの感謝状

昨年、猛威を振るった台風15号等による停電、水害被害に係る在宅酸素療法患者の安全確認等に尽力された在宅酸素療法サービス実施企業・事業所に対して、厚生労働省医政局長から感謝状が贈られることとなり、2月5日に当協会にて、医政局地域医療計画課 鈴木健彦課長による感謝状の贈呈式が行われました。

冒頭に鈴木課長より、各社による被災者支援へのねぎらいの言葉や厚生労働省への報告に対する謝辞が述べられ、さらに今後の自然災害に備えた各社の取り組みへの期待が添えられました。感謝状贈呈の後、2班に分かれて記念撮影を行いました。

今回の感謝状授与は、対象となった企業・事業所にとどまらず、災害時に尽力されている会員企業すべての皆様の励みとなるものと確信しています。当協会としても、災害に際して会員の皆様の一助となるよう、行政の指導に従い不断の努力を重ねていきます。

(医療ガス部門 事務局 田邊 浩義)



贈呈式出席者の皆様

ISO/TC58/SC4(容器および附属品の使用規格)国際会議参加報告

2020年2月13日に米国フォートワースで開催されたISO/TC58/SC4国際会議（全体会議）に参加しました。今年は米国規格協会（ANSI）およびCGAがホストとして会議を運営しました。フォートワースはテキサス州に位置し、ダラスから車で約30分のところにあります。

本会議が開催されたヒルトンフォートワースは、1963年11月22日にJ.F.ケネディが暗殺される直前、（結果的に）最後のスピーチを行った広場の向かいにあります（当時の名称はホテルテキサスでした）。現在この広場には、JFKトリビュートとしてJ.F.ケネディのブロンズ像が設置されています。

SC4(サブコミッティSC4)は、ガス容器関連の専門委員会(テクニカルコミッティTC58)の下で高圧ガス容器と附属品の使用規格の作成を担当している分科委員会で、この会議でSC4の年間の活動の総括と活動方針を決定します。JIMGA(容器技術WG)は年間を通じてSC4が担当する規格の制定や改訂動向の把握、規格案へのコメントや投票案の作成をしており、毎年日本代表としてこの会議に参加しています。今年は事務局の羽坂常務執行役員と三宅(容器技術WG長)が参加しました。

今回の会議は、アメリカ、フランス、イタリア、日本、カナダ、ノルウェー、スウェーデン、イギリス、ドイツ(テレカンファレンスによる参加)の9か国、TC58議長、ECMA(欧州容器製造者協会)代表者等が参加しました。



J.F.ケネディのブロンズ像



会議の様子

今回から新議長となったRob Early氏 (CGA) の議事進行により、SC4事務局からのSC4全体の活動、TC58の活動および活動計画、ならびに各WGからの活動状況、規格定期見直しの実施状況と予定等の報告を受け、議論のうえ15項目の決議が行われました。このうち、4つの規格等の策定作業が完了したことが確認され、このうち3つの規格をUNモデル規則の第22版のリファレンスに提案することが決議されました。また、技術仕様書として完了した文書を新たにISO規格にするための作業を開始することも決議される等、SC4としての成果を確認できる会議でした。

次回は、2021年2月15日の週にベルリンのドイツ規格協会 (DIN) のオフィスにて開催することが決定されました。

(技術・保安部会 容器技術WG長 三宅 博之)



会議出席者の記念写真

2019年度 高圧ガス容器全国一斉特別回収結果報告

2019年10月1日～10月31日に全溶連およびJIMGA会員企業の皆様にご協力いただき、長期停滞容器（納入後6ヶ月以上経過した使用済みの貸借容器）、放置容器、不明容器について、27,722軒を訪問し回収した結果を報告します。

回収本数は、52,377本（前年比+14,080本）で、そのうち長期停滞容器が50,641本（同+14,641本）、放置容器が1,197本（同△531本）、不明容器が539本（同△30本）でした。ガス種別の内訳は下表の通りで、酸素とアセチレンが圧倒的に多く、この2つを合わせた本数は全体の60%を超えています。回収場所は、消費者やガス事業者の容器置場が最も多く、次いで解体・建設現場となっています。

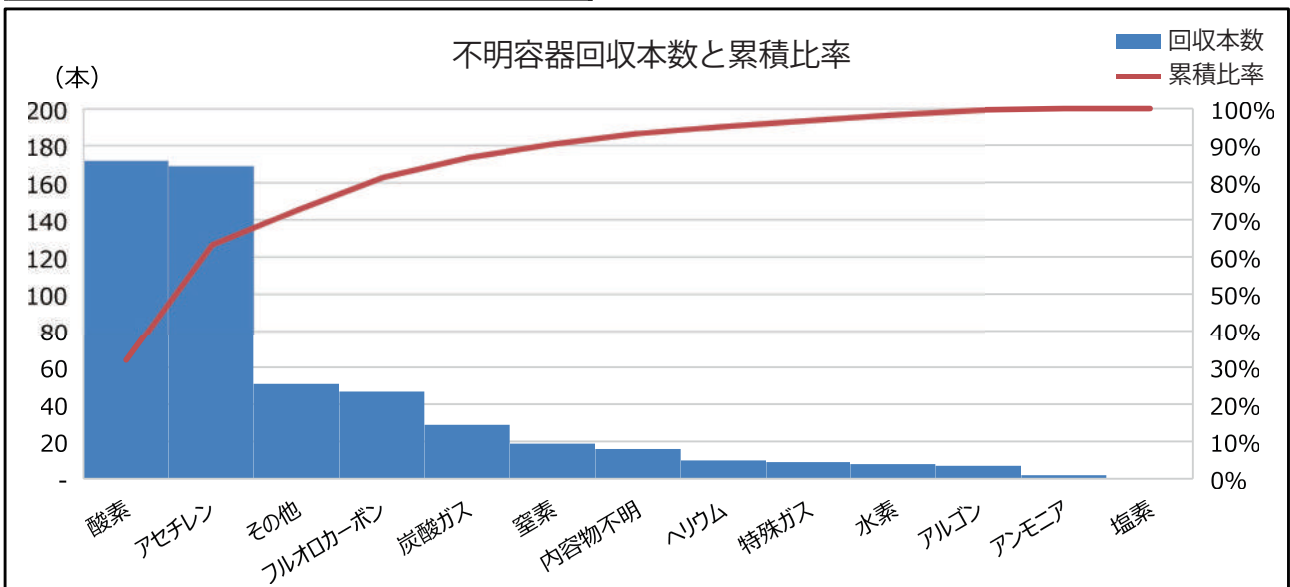
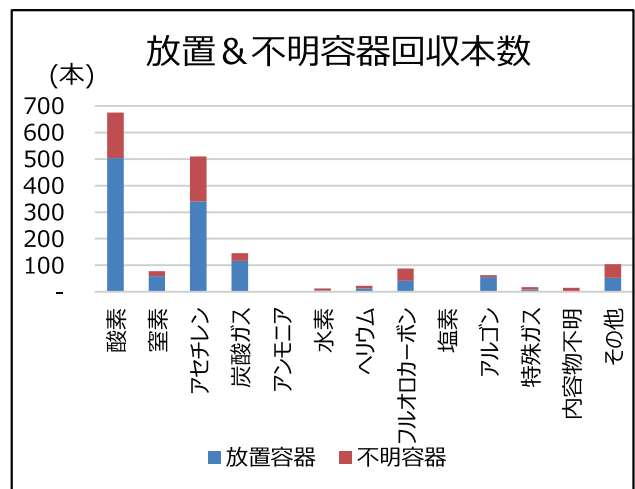
今回、容器回収にご協力いただきました方々には、改めてお礼を申し上げます。JIMGAでは引き続き放置容器、不明容器の撲滅に向けて取り組んでいきますので、今後ともよろしく願いいたします。

（放置容器撲滅WG事務局 山本 卓也）

1. ガス種別集計

(本)

	放置容器	不明容器	放置&不明
酸素	503	172	675
窒素	59	19	78
アセチレン	341	169	510
炭酸ガス	117	29	146
アンモニア	-	2	2
水素	5	8	13
ヘリウム	13	10	23
フルオロカーボン	41	47	88
塩素	-	-	-
アルゴン	56	7	63
特殊ガス	9	9	18
内容物不明	-	16	16
その他	53	51	104
計	1,197	539	1,736



2. 不明容器 ガス種別回収場所

(本)

回収場所	解体・建設現場		河川・山林		公道・公園		湾岸・海岸		容器置場(消費者)		容器置場(ガス業者)		その他(駐車場他)		合計	10L未満容器
酸素	15		3		-		-		121		22		11	172	52	
窒素	2		-		-		-		13		1		3	19	5	
アセチレン	38		2		-		2		94		29		4	169	39	
炭酸ガス	1		-		-		-		16		4		8	29	10	
アンモニア	-		1		-		-		1		-		-	2	-	
水素	4		-		-		-		4		-		-	8	3	
ヘリウム	1		-		-		-		6		1		2	10	1	
フルオロカーボン	2		-		3		14		8		3		17	47	8	
塩素	-		-		-		-		-		-		-	-	-	
アルゴン	1		-		-		-		3		2		1	7	2	
特殊ガス	5		-		-		-		4		-		-	9	4	
ガス名不明	1		8		-		-		5		2		-	16	1	
その他	2		1		-		1		22		8		17	51	11	
2019年度合計	72	13%	15	3%	3	1%	17	3%	297	55%	72	13%	63	12%	539	136
2018年度合計	163	29%	26	5%	13	2%	22	4%	225	40%	87	15%	33	6%	569	125
2017年度合計	195	25%	36	5%	7	1%	26	3%	339	43%	89	11%	89	11%	781	193
2016年度合計	209	23%	49	5%	14	2%	18	2%	330	37%	205	23%	76	8%	901	188
2015年度合計	104	23%	11	2%	3	1%	22	5%	211	46%	45	10%	58	13%	454	106

EIGA主催セミナー参加報告

2020年1月28日～30日にEIGA主催のトレーニングとセミナーが、ベルギー・ブリュッセルのラ・プラザ・ホテル・シアターで開催されました。協会メンバーとして、JIMGAより前田が参加しました(アジアからの参加はJIMGAのみ)。

初日は、「事故分析トレーニング(2020 Training Course: Root Cause Analysis)」が開催され、48名が参加しました。調査手法、人的要因を含めた原因分析(5つのなぜ)、再発防止対策を含めた行動計画の作成、およびRCA (Root Cause Analysis = 根本原因分析)についての講義を受けた後、10グループに分かれてケーススタディ(労災、高圧ガス事故等に関する事例研究 ケース1-3)を実施し、講義の具体的検証を学びました。



セミナー会場およびケーススタディの様子

セッション内容

2日目～3日目は、「冬季セミナー(Lessons Learned in Production and Filling Plants)」が開催され、200名以上が参加しました。

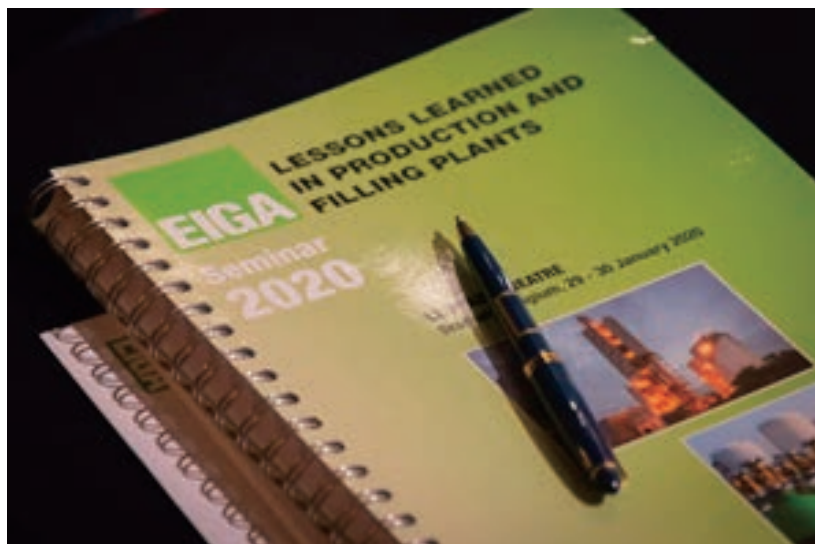
本セミナーの構成は、以下の7つのセッションでした。

- ①業界における重度な事故(酸素欠乏に関連する危険な出来事、他)
- ②炭酸ガス、酸素および低温脆化に関連する事故(炭酸ガス:単純な窒息ではない、他)
- ③火災とパーライト放出(アセチレン製造における火災、他)
- ④シリンダー、フォークリフトおよび電気ステーションに関する事故(応力腐食によるシリンダー破裂、他)
- ⑤良い習慣(水素爆発と安全な作業システム、他)
- ⑥さらに進むための取組み(主要な産業リスクを管理するための簡単で効率的なアプローチ、他)
- ⑦今後の課題と機会(シリンダー充填と取扱の自動化による安全性強化、他)

各セッションの最後には質問時間が20分程あり、スマートアプリからの質問と会場からの質問を受けて活発な質疑応答が行われました。

この講演資料の電子データが2月末頃に公開されますので、JIMGA会員の方で、資料の入手希望がありましたら、JIMGA事務局までご連絡下さい。

(充填技術WG 事務局 前田 和也)



セミナー資料より

2020年 賀詞交歓会

1月14日、経団連会館にて2020年賀詞交歓会を開催しました。JIMGA会員の方々および来賓として経済産業省、厚生労働省、高圧ガス保安協会など関連団体の皆様にご参加いただき、盛況のうちに閉会しました。ご出席いただきました皆様には心より御礼申し上げます。

会長、副会長、および来賓のご挨拶についてはJIMGAウェブサイトに掲載しています。

◎ 賀詞交歓会挨拶はこちら↓

<http://www2.jimga.or.jp/dl/kyokai/jimgakoho20200122.pdf>



会場の様子

各地域本部で開催された新年行事については、JIMGAウェブサイトの地域本部のページに掲載しています。会員ページにログインのうえ、下記URLよりご覧下さい。

◎ 地域本部のページはこちら↓

<http://sangyo-mem.jimga.or.jp/front/bin/ptdetail.phtml?Part=chiiki-01>

(広報委員会 事務局)

気ままに コラム

ずっと前に韓国のホテルから持って帰ってきたゴシタオルが結構ボロボロになったので、買い替えることにした。体を洗うタオルなんてどれも同じで、硬い方が気持ちいいと思っていたが、まあ、一度くらい柔らかいものを使ってみようかと、少し躊躇しつつも400円くらいのボディタオルを買ってみた。どれどれと使ってみると、「なんじゃ、この泡がフワフワで優しい感覚は？体がトロけそうやわ。癒される〜っ。」とお風呂で独り言を言っている自分がいた。高価なカメラや自転車なんかよりもずっと満足度が大きいじゃないか！これだったら全身の脂がなくなるまでじっくり洗えるので、もうおっさん臭さとは無縁かな！？

(広報担当 岩戸 康人)